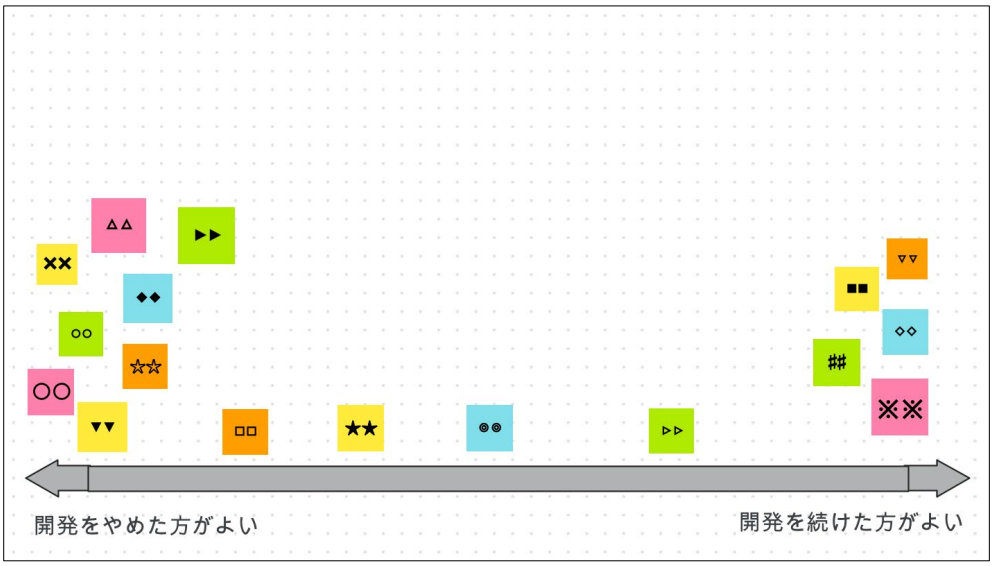
本時版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科	社会	学年	5年
単元名 (教材名)	あたたかい土地のくらし－沖縄県－ （東京書籍「新しい社会　5上」）	時	第3時（全5時間）
本時の 目標	沖縄県では、美しい自然を生かした観光業がさかんであることに気付くとともに、観光業と環境保全を関連付けて考えたことを表現することができる。		

	学習活動	ICT 活用
1	○本時の学習問題をつかむ。 ・「都道府県別宿泊者数」、「沖縄県の県内入域観光客数の推移」等の資料から、沖縄県を訪れた観光客数が全国的にも多いことや、年々増加していることをつかむ。	1【学習者用端末】（ロイロノート） 配信された、「都道府県別宿泊者数」、「沖縄県内入域客数の推移」、「行ってみたい都道府県ランキング」などの資料を読み取る。
2	○「たくさんの観光客が来る沖縄には、どのような魅力があるのか」を考える。	2【学習者用端末】（ロイロノート） ・本時までに、「沖縄の魅力」について、写真を貼ったり説明を加えたりして、カードにまとめておく。 .共有された全員のカードを見て、学習問題の答えを考えて発表する。
3	○沖縄県が、自然、歴史、文化等の様々な魅力をアピールしていること、またそれらの魅力を観光業に生かしていることを様々な資料から確認する。	3【学習者用端末】 ・沖縄県公式 Web ページを見て、沖縄県が自然、歴史、文化等の様々な魅力をアピールしていることを確認する。 3【大型提示装置】 沖縄県庁で観光の振興を担当している方のインタビュー動画を提示する。
4	○沖縄県の観光業と環境保全を関連付けて考えたことを表現する。 ・自然を生かした観光業がさかんな沖縄において、「開発を続けた方かよいのか」「開発をやめた方がよいのか」「どちらでもないのか」自分の考えを決める。 ・教師から配信された複数の資料を読み取り、自分の考えの根拠となる資料をもとに、改めて自分の考えを決める。	4【学習者用端末】（Jamboard） ・Jamboard の「開発メータ」上に、自分の名前を書いた付箋で、自分の考えを示す。 4【大型提示装置】 Jamboard の「開発メータ」を提示しておく。 4【学習者用端末】（ロイロノート） 配信された複数の資料を読み取り、必要であれば、文字等書き込みをして、考えを整理する。

5	○自分の考えの根拠となる資料を提示しながら、自分の考えを発表する。 ・まず、班で発表する。 ・学級全体で、2～3名の児童の発表を聞く。	5【学習者用端末】（ロイロノート） 自分の考えの根拠となる資料を表示し、発表の際に提示する。
6	○本時を振り返り、学習問題に対する答えをまとめる。 ・共有された、学級の児童全員の答えを確認する。	6【学習者用端末】（ロイロノート） カードにまとめる。 6【大型提示装置】 児童全員のカードを提示する。

備　考
・適切なタイミングで素早く、提示したい資料を学習者用端末に配信できることで、限られた授業の時間を有効に活用することができる。 ・学習者用端末に複数の資料を送ることができるため、複数の資料から必要な資料を取り出して、自分の「考え」の根拠とすることができる。 ・Jamboard を使うと、学級の全員がそれぞれどのような「考え」をもっているかを、席を立たずに短時間で示すことができる。また、対話的な活動の最中に、もし、自分の「考え」が変わったとしても、席を立つことなく、自分の「考え」を変更して示すことができる。 ・各々がロイロノートのカードに書いた本時の振り返りを、教師が共有すれば、児童は他の児童の振り返りを見ることができるため、自身の知識が増えたり、学習の在り方を見直したりすることができる。

原案作成【　香芝市立関屋小学校　】

4【学習者用端末】